

来訪神としての 光源氏と変容する女性

街かど古典カフェは、一流の講師による古典をより深く、より掘り下げて学ぶ贅沢な講座です。

『源氏物語』の主人公、光源氏のことを「ひどい男！」なんて思っておられる方！その彼を来訪神と捉えてみるとまったく違った見え方に。「源氏物語」に描かれる「まばゆいばかりの色彩」「匂い立つ香り」「雅なる音」、五感だけでは表現できない感覚世界を楽しみながら、来訪神としての光源氏の存在を読み解きます。今なお世界中で上演される人気オペラ「ドン・ジョバンニ」、あらゆる女性を虜にする稀代のプレイボーイとの共通点、違いが発見できるかも！2 回目は、源氏物語を 2.5 次元の世界で表現するものって何？「能と宝塚歌劇」を中心に能楽師安田登先生ならではの視点でお話いただく連続講座です。

日 時 令和5年 10月7日(土)・10月21日(土)
13時30分～15時(受付：12時30分)

会 場 立命館朱雀キャンパスホール(京都市中京区西ノ京朱雀町1)

交通案内(JR・地下鉄 京都駅から)：

JRにて約10分、「二条駅」下車、徒歩約2分

京都市営烏丸線にて約5分、「烏丸御池駅」で京都市営東西線に乗り換え、「二条駅」下車、徒歩2分

定 員 450名

事前申込制・先着順で定員になり次第受付終了

※未就学児の入場はご遠慮ください。

受講料 3,000円(税込) 2回通し

学生無料・当日学生証の提示をお願いします。

内 容

- 第1回 (10月7日) 来訪神としての光源氏「末摘花」
- 第2回 (10月21日) 源氏物語の2.5次元：
能と宝塚歌劇を中心に

※都合により、内容の変更をさせていただく場合がございます。

講師プロフィール



やすだ のぼる
安田 登 (下掛宝生流能楽師)

1956年千葉県生まれ。日本や海外の能の公演に出演。また神話『イナンナの冥界下り(シュメール語)』でのヨーロッパ公演や、金沢21世紀美術館での『天守物語(泉鏡花)』、『芸能開闢古事記』など、能・音楽・朗読を融合させた舞台を数多く創作、出演する。100分de名著『平家物語』、『太平記』講師・朗読。『論語』などを学ぶ寺子屋「遊学塾」を主宰。『すごい論語』『あわいの力』(以上、ミシマ社)『能 650年続いた仕掛けとは』(新潮新書)『野の古典』(紀伊國屋書店)『古典を読んだら、悩みが消えた』(大和書房)著書多数。関西大学特任教授(総合情報学部)。